

⑤ 疑義照会に関する事例（薬剤削除）

疑義があると判断する契機となった情報

ヒヤリ・ハット事例のうち、「疑義照会」に関する事例が1,040件報告され、このうち、変更内容が「薬剤削除」であった事例が270件ありました（集計期間：2015年1月1日～12月31日）。

「疑義があると判断した理由」の項目で「当該処方せんと薬局で管理している情報で判断」または「上記以外で判断」が選択されていた事例に記載されていた「疑義があると判断する契機となった情報」の内容を以下に示します。

疑義があると判断する契機となった情報			件数
薬局で管理している情報	同一、同効薬の重複	87	149
	薬局で管理している情報と処方内容との相違	22	
	患者の疾患、病態	17	
	副作用歴	11	
	残薬の有無	5	
	処方歴の有無	4	
	医薬品の相互作用	3	
患者との会話	患者が理解している内容と処方内容との相違	12	43
	副作用歴	11	
	同一、同効薬の重複	7	
	残薬の有無	6	
	患者の疾患、病態	5	
	授乳婦	1	
	医薬品の相互作用	1	
お薬手帳	同一、同効薬の重複	33	38
	医薬品の相互作用	3	
	お薬手帳の内容と処方内容との相違	2	
患者アンケート	授乳婦	2	2
合 計			232

※1 疑義照会に関するヒヤリ・ハット事例は、医療機関で発生した処方の誤りを薬局で発見した事例を含む。

※2 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 平成27年年報 209頁 図表5-9

